

無黄変タイプ透水性舗装材

リンクストーン

F・M・S・G・C (舗装用)

施工要領書

おことわり

- 舗装面が水に濡れると、滑りやすくなることがありますので、歩行の際は十分に注意してください。滑り止めが必要な場所には、[滑り止め工法]で施工してください。
- 裸足での歩行は肌を傷つけることがありますので、避けてください。
- 舗装面に強く触れると肌を傷つけることがありますので、ご注意ください。
- 骨材は天然石、セラミック、リサイクルガラスなどのため、ロットにより多少色調が異なります。
- 無黄変型ウレタン樹脂も長期的には光沢がなくなり、自然石やガラスそのものの色になります。
- 天然石には鉄分が含まれるため、錆が出る場合があります。

安全に関する注意事項

- 製品の特性を十分にご理解いただき、正しくかつ安全にご使用いただくために、次の事項につきまして、ご注意願います。

特殊ウレタン樹脂の主剤・プライマーについては吸引したり、皮ふに触れたりすると、中毒やかぶれを起こす恐れがあるので、取扱いには下記の注意を守ってください。

■取扱上の注意

1. 作業中は、換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにしてください。
2. 取扱い中はできるだけ皮ふに触れないようにし、必要に応じて防護マスク・有機ガス用防毒マスクまたは送気マスクをつけ、更に頭巾、長袖の作業服、えり巻タオル、保護手袋を着用してください。
3. 作業後は手洗い・うがいをしてください。汚れた作業服は洗濯してください。
4. 皮ふに付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛みまたは、外観に変化があるときは、医師の診断を受けてください。
5. 目に入った場合には、多量の水で洗い、ただちに医師の診断を受けてください。
6. 蒸気、ガスを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし必要に応じて医師の診断を受けてください。
7. 誤って飲み込んだ場合には、ただちに医師の診断を受けてください。
8. 容器からこぼれた場合には、砂などを散布し、回収したのち、水洗いしてください。
9. 容器は密封し、直射日光を避け、換気のよい冷暗所に保管してください。また冬期には凍結しないように注意してください。
10. 子供の手の届かないところに保管してください。
11. 空容器の処理は可燃物、不燃物に仕分けして廃棄物処理業者に依頼してください。残さ・残液は下水・河川・池・井戸・地下水などを汚染する恐れのある場所には廃棄しないでください。
12. 指定された以外の材料と混合しないでください。

火気厳禁

危険物 第4類 第1・4石油類

梱包部品一覧表

1.5㎡セット				3㎡セット			
リンクストーン F 塗り厚8mm	梱包名	内 容	荷 姿	梱包名	内 容	荷 姿	
	樹脂セット	主 剤	1.25kg/袋	樹脂セット	主 剤	2.5kg/袋	
	F・M・G1.5㎡用	プライマー	0.3kg/缶	F・M・G3㎡用	プライマー	0.6kg/缶	
	F骨材(1袋)		25kg/袋	F骨材(2袋)		25kg/袋×2	
リンクストーン M 塗り厚10mm	梱包名	内 容	荷 姿	梱包名	内 容	荷 姿	
	樹脂セット	主 剤	1.25kg/袋	樹脂セット	主 剤	2.5kg/袋	
	F・M・G1.5㎡用	プライマー	0.3kg/缶	F・M・G3㎡用	プライマー	0.6kg/缶	
	M骨材(1袋)		25kg/袋	M骨材(2袋)		25kg/袋×2	
リンクストーン S 塗り厚3mm	梱包名	内 容	荷 姿	梱包名	内 容	荷 姿	
	樹脂セット	主 剤	0.63kg/袋	樹脂セット	主 剤	1.25kg/袋	
	S・C1.5㎡用	プライマー	0.3kg/缶	S・C3㎡用	プライマー	0.6kg/缶	
	S骨材(1袋)		11kg/袋	S骨材(2袋)		11kg/袋×2	
リンクストーン G 塗り厚10mm	梱包名	内 容	荷 姿	梱包名	内 容	荷 姿	
	樹脂セット	主 剤	1.25kg/袋	樹脂セット	主 剤	2.5kg/袋	
	F・M・G1.5㎡用	プライマー	0.3kg/缶	F・M・G3㎡用	プライマー	0.6kg/缶	
	G骨材(1袋)		25kg/袋	G骨材(2袋)		25kg/袋×2	
リンクストーン C 塗り厚3mm	梱包名	内 容	荷 姿	梱包名	内 容	荷 姿	
	樹脂セット	主 剤	0.63kg/袋	樹脂セット	主 剤	1.25kg/袋	
	S・C1.5㎡用	プライマー	0.3kg/缶	S・C3㎡用	プライマー	0.6kg/缶	
	C骨材(1袋)		11kg/袋	C骨材(2袋)		11kg/袋×2	

※新設時に同時に滑り止め機能をつける場合は、別途「SK滑り止め材」(別売)が必要です。

施工前の注意事項

- この商品は、リンクストーン樹脂セットと骨材からなっています。(セットされている材料以外のものは使用しないでください。)
- 主剤には夏用(4月～10月)と冬用(10月～4月)があります。季節に応じて使い分けてください。
※4月・10月は、夏用・冬用どちらでも施工できます。
- 水は一切接触させないでください。(水の混入は硬化不良及び発泡の原因になります。)
- 夏期は風通しの良い日陰などで保管してください。直射日光下に材料を長期間置くと可使用時間が極端に短くなることがあります。
- 冬期は室内など気温の高いところに保管してください。気温の低い屋外などに保管すると主剤粘度が高くなり、混合作業に不具合を生じて発泡する事があります。
- 雨水等に濡らす、また一切混入しないように注意してください。
- 施工にあたっては次の物を用意してください。
○灯油(鏝塗り作業時の鏝拭き用) ○ゴム手袋 ○ウールローラー及びバット ○刷毛 ○金鏝
○モルタルミキサー(施工面積の広い現場には機械練りが便利です) ○左官舟 ○その他左官工具一式
○保護具 ○塗料用シンナー(使用後の道具洗浄用)
- 周囲は必ず養生してください。樹脂が付着すると取り除くことはできません。

施工上の注意事項

- 屋外施工では天候に十分注意し、降雨、強風時の施工は避けてください。
- 施工後24時間は立ち入り禁止とし、硬化しきらないうちに雨水などにあたらないようにしてください。
必要に応じ、シートなどで雨養生してください。(但し、最高気温が夏用樹脂で20℃以下、冬用樹脂で10℃以下の場合は48時間)
- 冬期、気温5℃以下での施工は避けてください。
- 冬期、主剤は室内など気温の高い所に保存してください。気温の低い屋外に保存すると主剤粘度が高くなり、混合作業に不具合を生じ、発泡することがあります。
- 主剤と骨材は必ず所定の割合で混合してください。
- 夏期炎天下での施工は、硬化が促進され可使用時間が極端に短くなるため、気温の低い日陰からか、早朝、夕方などに施工してください。また、施工前の主剤は日陰で保管するなど温度が上がらないようにしてください。
- 立ち上がり面、駐車場には、施工できません。
- 施工中は、現場付近での火気の使用は避けてください。
- 一度開封した主剤及びプライマーは速やかに使いきってください。長期保存はできません。
開封したままにしておくと、固まってしまうことがありますのでご注意ください。
- 樹脂が硬化するまで少々臭気します。室内での施工の場合は特に換気に注意してください。
- 樹脂が肌に付着しないようゴム手袋を使用し、万一肌に付着した場合は、石鹸ですぐに洗い流してください。
- 強風などにより、硬化前にほこりやゴミが付着する恐れがある場合は施工を避けてください。
- 材料は、直射日光・雨水の当たらない一定の場所を定めて保管してください。
- 骨材は天然石のため、ロットにより多少色調が異なります。異なるロットでの塗り継ぎは避けてください。
- 仕上がり均一にするため、施工前に骨材の空合わせは十分に行ってください。

下地に関する注意事項

1



- 下地はコンクリート、セメントモルタルとし、表面を平らに仕上げたものとします。
- 下地には2%程度の排水勾配をつけ、雨天時に水たまりが出来ないようにしてください。
- クラック防止のために2間(3.6m)を目安に誘発目地をつけてください。
- 下地は完全に乾燥させてください。湿っていると塗材のハガレ・フクレ(発泡)の原因となります。

2



- 下地表面のホコリ、ゴミ、土、レイトンス、油分、コケ、カビなどは完全に除去してください。
- セメントの白華及び汚れは、前日までにデッキブラシ、ワイヤーブラシなどを用いて水洗いするか、ポリッシャー(床洗浄・研磨機)で研磨清掃して完全に除去して乾燥させておいてください。

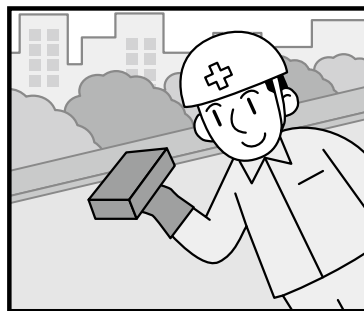
※清掃が不十分な場合は、ハガレを生じることがあります。

3



- 下地の不陸(凹凸)、欠損部の不良下地は、あらかじめセメントモルタルなどで平滑に補修してください。
- 1mm未満のヘアクラックの場合は「SKカチオンクリート舗装用」(別売)等で全面補修してください。
- 1mm以上のクラックは市販のエポキシ樹脂を注入してから、「SKカチオンクリート舗装用」(別売)等で全面補修してください。

4



- 縁まわりを平タイル、コーナータイル、セメントモルタル等で処理すると骨材の納まりがよく、剥がれ難くなります。
- 用途に応じてS・Cには「SK抜き目地舗装用」(別売)、F・M・Gには「SK舗装用目地棒」(別売)で、目地切りやデザインもできます。

※「SK抜き目地舗装用」及び「SK舗装用目地棒」については、6ページをご覧ください。

※縁まわりには排水用の目地(スリット)を設け、水がたまらないようにしてください。

施工手順

1 材料の準備

- 樹脂セットから主剤、プライマーを取り出します。
- 骨材は左官舟又はモルタルミキサーに移します。

※骨材は天然石の為、ロットにより多少色調が異なります。
仕上がりを均一にする為、骨材どうしの空合わせを十分に行ってください。

- 作業はスピーディーに行ってください。
- 主剤の開封後、30～40分以内で作業を終了させてください。

2 プライマーの塗布



- プライマーをウールローラー、または刷毛で下地に均一に塗布します。
- ※プライマーは原液のまま使用してください。水やラッカーシンナーなどを加えると発泡や硬化不良の原因になります。
- ※プライマーは必ず床面に使用し、主剤や骨材と混合して使用しないでください。
- ※足の裏にプライマーが付着して周辺を汚してしまうことがありますので、養生するなど注意してください。

③ 樹脂モルタルの塗布

①



又は



- 主剤を骨材中に投入し、骨材と均一になるように混ぜ合わせます。(モルタルミキサー混合時間：3～5分)これを樹脂モルタルとします。

※アルミパック内の主剤はよくもんでから全量絞り出してください。
 ※混合容器の側面や羽根などに付着した主剤はヘラなどで掻き落とし、再度十分に骨材と混合してください。
 ※リシンマザール等で混合しないでください。石が碎ける等して変色や色ムラになります。
 ※混合容器はきれいなものを使用してください。
 セメント等の粉体が混入すると色むらの原因になります。



ママコが残っていたり、混合が不十分な場合、白く発泡したり硬化不良の原因となります。特に冬期気温の低い場合には主剤の粘度が高くなりますのでしっかり混ぜ合わせてください。

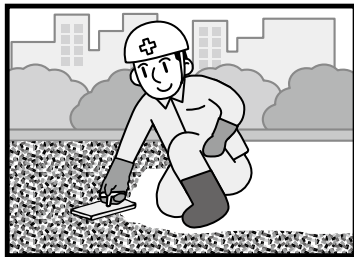
②



- この樹脂モルタルを先に塗布したプライマーの上に、素早くレーキ、または金鋸でならします。

※薄塗りにならないように、規定量の厚みに素早く敷きならしてください。
 山盛り状での長い時間の放置は、発泡の原因となるため避けてください。
 ※モルタルミキサー等混合容器の底に残った材料は施工に使用しないでください。
 樹脂だまりとなり、発泡の原因となります。

③

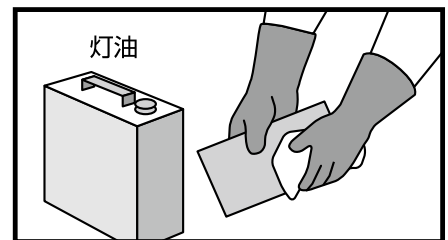


- その後、金鋸でよく押さえて表面を密に平滑に仕上げます。

- 特に、リンクストーンF（最密充填タイプ）の場合は、金鋸で叩き込むなど、骨材を十分に押さえて密に平滑に仕上げてください。

- 仕上げ押さえは、必ず樹脂を拭き取った金鋸で平滑に仕上げてください。

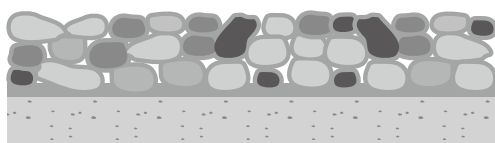
- 塗り継ぎは、塗りつけた樹脂モルタルが硬化しないうちに行ってください。連続作業ができない場合は、いったん目地で切ります。
- 使用後の器具などは、速やかに塗料用シンナーで洗浄します。



鋸に樹脂が付着して塗りにくくなってきたら、灯油を含ませたウエスなどで樹脂を拭き取りながら作業を行ってください。(硬化不良の原因になるのでシンナーは使用できません)



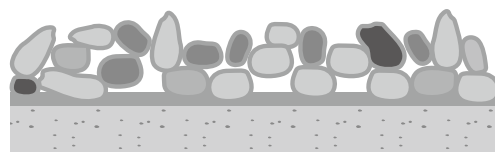
良い施工例



施工断面が骨材で密に充填されており、仕上り面も平滑である。



悪い施工例



施工断面に空隙が多く、仕上り面に骨材が立っているなど凹凸がある。(脱石やハガレの原因となります。)

滑り止め工法

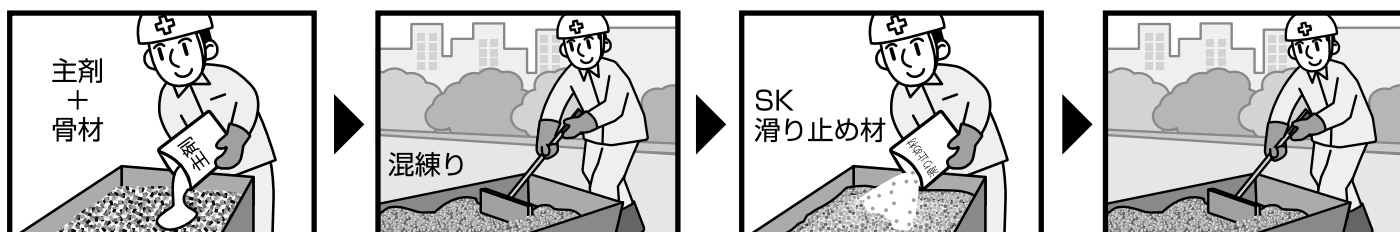
■ 新設時に同時に滑り止め機能をつける場合

別途「SK滑り止め材」(別売)の準備をお願いします。

● SK滑り止め材の使用量

骨材	F・M・G	S・C
	1袋(25kg)	1袋(11kg)
SK滑り止め材	1袋(400g)	1/2袋(200g)

※ 1ケースセット内容: SK滑り止め材400g/袋×20



- 通常の施工通りにプライマーを塗布し、主剤と骨材を混ぜて均一混練り後、「SK滑り止め材」を混ぜ合わせます。(骨材と同時に混練りした場合、均一に混ざらないことがあります)
- 通常の施工通り、滑り止め材入りの「リンクストーン」を敷きならします。

■ 既設「リンクストーン」に滑り止め機能をつける場合

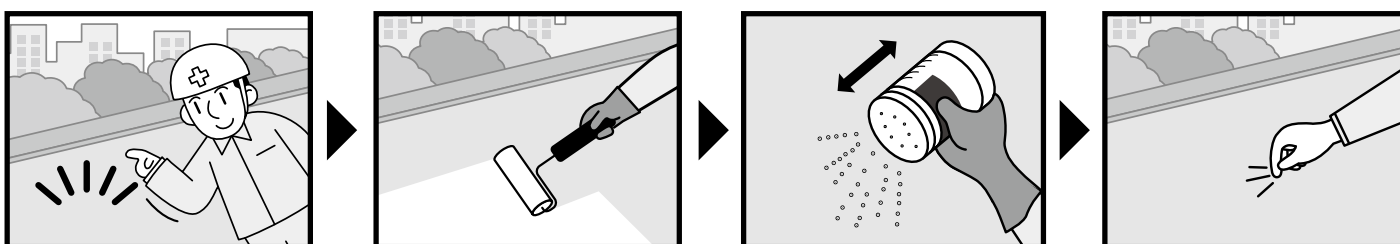
別途、「つや消し&滑り止めキット」(別売)と「リンクストーン用メンテナンスコート」(別売)の準備をお願いします。



リンクストーン用メンテナンスコート▶
4kg/缶(20㎡分)

◀ つや消し&滑り止めキット(セット内容)

商品名	重量
つや消し&滑り止め材	2kg/袋(40㎡分)
散布容器	500ccポリ容器(1コ)



「リンクストーン」表面に土ほこりや汚れなどがないかよく確認します。

「リンクストーン用メンテナンスコート」を、ウールローラーまたは刷毛で滑り止め機能をつけたい舗装面に均一に塗布します。塗布量は骨材により異なりますが200g/㎡を目安としてください。

※ 硬化不良の原因となりますので、「リンクストーン用メンテナンスコート」は希釈せずそのまま使用してください。

その後直ちに(硬化する前に)「つや消し&滑り止めキット」を使ってリンクストーンの表面にムラができないように少しずつ均一に散布してください。(標準散布量: 50g/㎡)

表面が硬化するまでは立ち入り禁止とし、雨水などに当たらないでください。また、乾燥するまでは足の裏に樹脂が付着し、周辺を汚してしまうことがありますので注意してください。

目地切りやデザインの施工について

■ SK抜き目地 舗装用 (S・C用) の場合



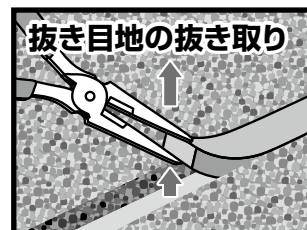
デザインの下書き
コンクリートまたはセメントモルタルの下地に鉛筆でデザインの下書きを引き、その後プライマーを塗布します。



抜き目地の貼り付け
先に塗布したプライマー乾燥後(夏期:0.5~1時間後、冬期:3~4時間後)に、下書きしたライン上へ抜き目地を貼り付けます。



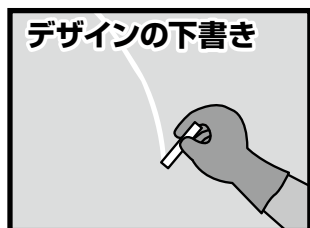
舗装材の施工
抜き目地で分けられた舗装面を、それぞれ好みの舗装材で施工すればOK。



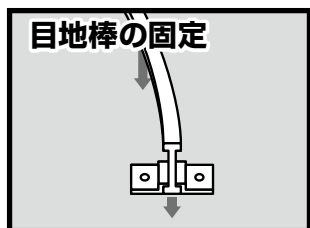
抜き目地の抜き取り
樹脂モルタル塗布後(夏期:4時間以上、冬期12時間以上後)、抜き目地本体をラジオペンチ等を使用してゆっくりと丁寧に取り除きます。

※ 抜き目地を取り除く際に塗材が動いた場合は、灯油を含ませたウエスなどで金鏝をよく拭き軽く押さえます。
※ SK抜き目地 舗装用を取り除いた際、テープが下地に残ることがありますが、完全硬化後にマイナスドライバー等で取り除いてください。

■ SK舗装用目地棒 (F・M・G用) の場合



デザインの下書き
コンクリートまたはセメントモルタルの下地にチョークでデザインの下書きを引きます。



目地棒の固定
下書きしたチョークの上に目地棒を置き、目地固定材をドライバーと小ネジで固定します。
($\phi 3.4$ 深さ35mmの下穴を開けてください。)



舗装材の施工
目地棒で分けられた舗装面を、プライマー塗布後にそれぞれ好みの舗装材で施工すればOK。

※ 目地固定材は目地棒一本当たり3ヶ所(6ヶ)を目安としてください。

※ 曲線の場合は度合いに応じて固定材を増やし、しっかり固定してください。